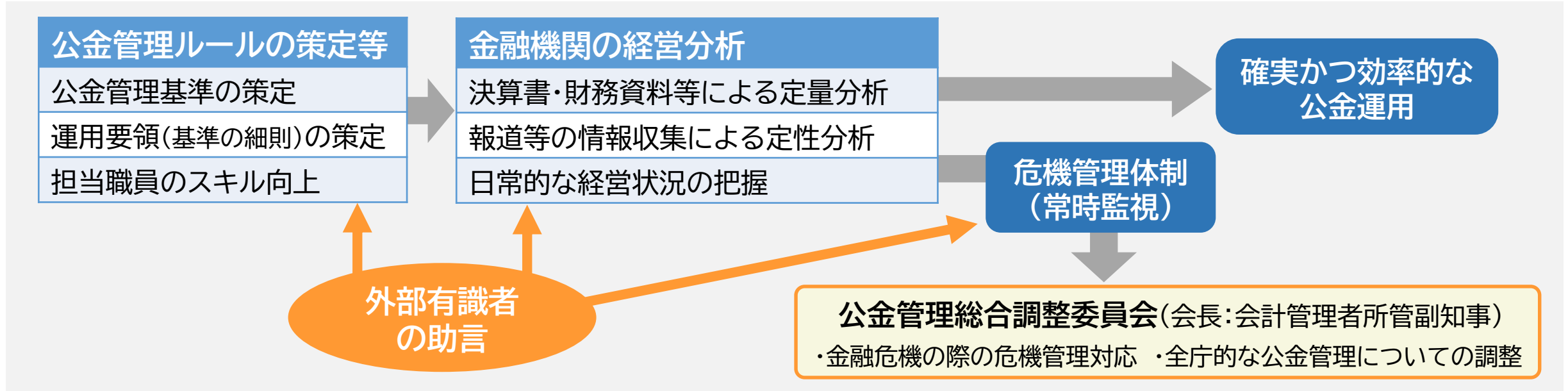


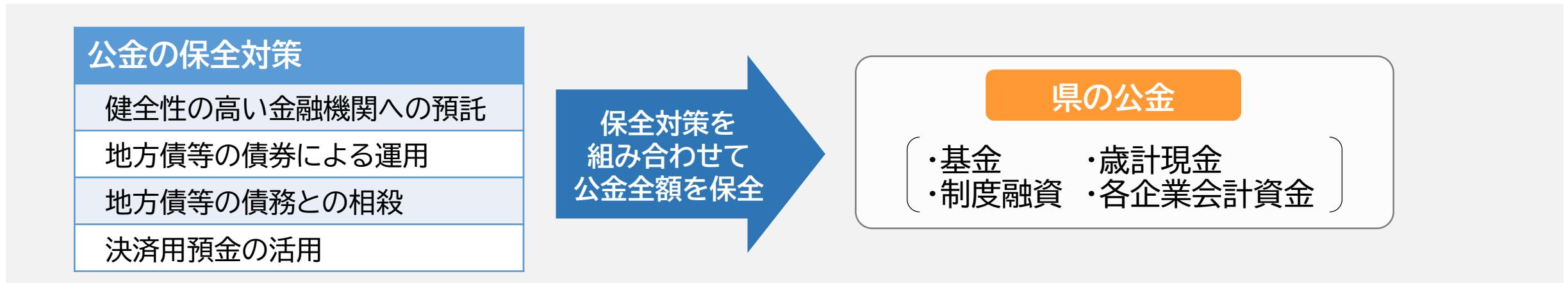
公金の管理・運用について

1 公金の管理

① 管理体制



② 保全対策



2 公金の運用方針

基金：県が設置する基金を一括運用(資金を集約して会計管理課が運用)。
長期・中期で運用可能な資金について債券や定期預金で運用し、運用益の確保に努める。

歳計現金：一定の支払準備金を確保しつつ、年度中の資金状況を見極めながら、余裕資金については、預金を中心に運用する。

※ 基金の一括運用について

○運用方法

運用可能期間	運用商品	特徴
長期(1年超)	地方債、国債等	・高い運用利回りが期待できる。
中期(数か月～1年)	定期預金等	・普通預金より高い運用利回りが期待できる。 ・計画的かつ定期的に預金を行うことで、急な支出にも対応可能。
短期(常時支払準備資金)	普通預金	・常時支払い等に必要な金額を用意するための資金。

○一括運用のメリット

運用の効率性向上	・支払準備を最小限に抑え、大口資金で運用が可能。運用ノウハウを集約。
危機対応	・金融情勢の即時把握。迅速な判断と対処が可能。
事務負担の軽減	・県庁全体の事務負担軽減。